

観光・産業連携拠点づくり事業 基本計画事業概要

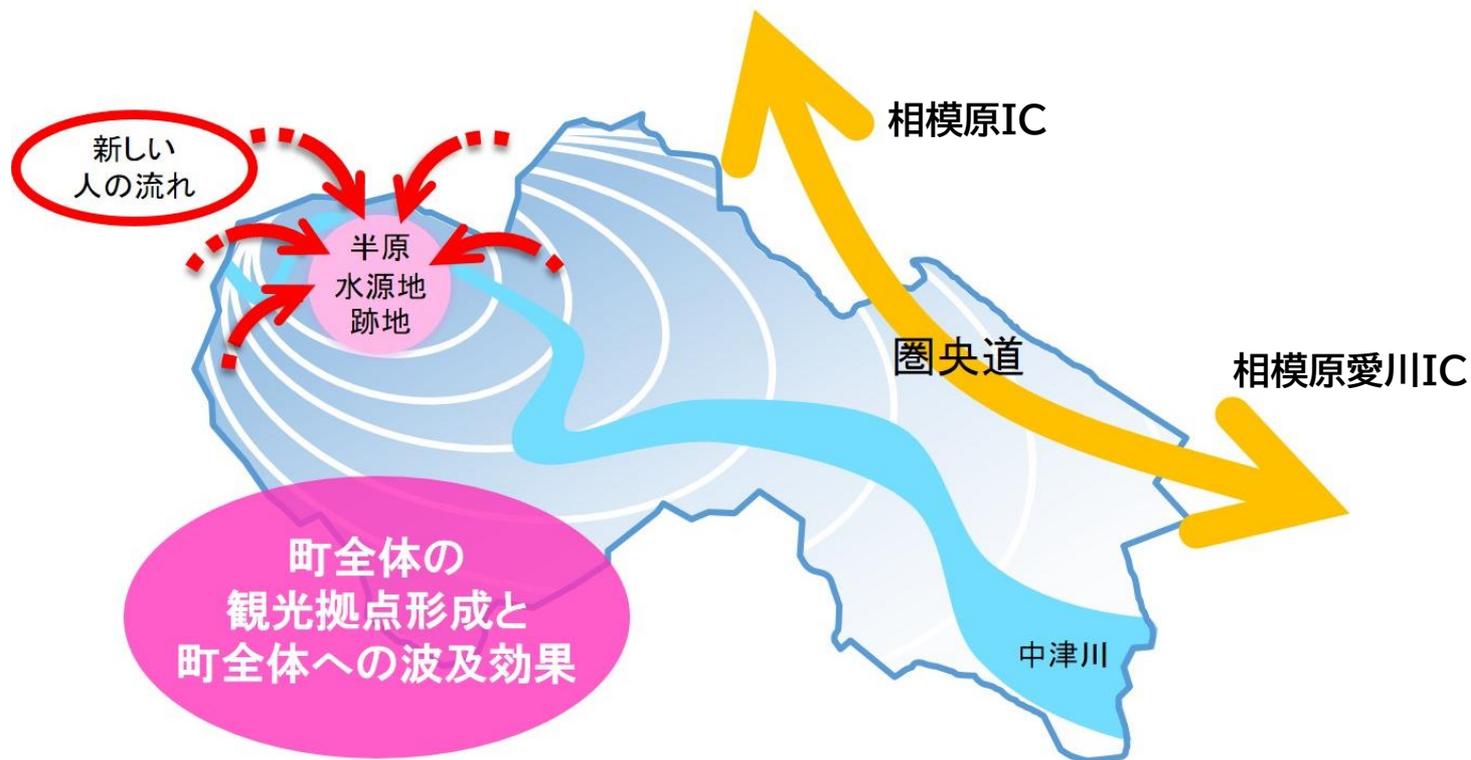
観光・産業連携拠点づくり事業用地の概要

項目	内容
旧名称	横須賀水道半原水源地
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町半原4756-2他
施設規模	敷地面積: 35,220㎡
用途地域	準工業地域 特別工業地区(愛川町都市計画特別工業地区建築条例による)



観光・産業連携拠点づくり事業の目的

町内の既存ストックやストック効果を活用し、**半原水源地跡地を起点**とした、**町全体の観光拠点形成**を主眼に置き、**新たなひとの流れ**、さらには**新たな産業を創出**することを目的としている。



半原水源地跡地の整備方針

[目標とする活用イメージ]

半原水源地跡地が新たな可能性を創出する

半原水源地跡地の利活用がまちに新たな価値と活力を生み出す！

[求められるもの]

まちのライフスタイルを変える空間

- 散歩等の目的地となる(散歩や自転車で来くなる)
- 団らん・交流の場となる(家族でピクニック、友人とBBQなど)
- 川を眺めてくつろぐ(読書、せせらぎを聴く)
- 健康意識の醸成(竹林散策路、未病スペース)

まちの活力創出に寄与する空間

- 周遊客が立ち寄る(レストランで食事、物産販売所で買物)
- グランピングで手軽に自然を満喫する
- 広場でイベントを楽しむ
- アトラクション遊具でダイナミックな遊びを楽しむ

まちのカルチャーを継承する空間

- 水源地跡地の遺構の展示
- 中津川の景観
- 町の歴史・文化を来訪者に紹介

まちの安全・安心を支える空間

- 施設を避難所として一部活用
- 災害時におけるトイレやシャワーの提供
- 駐車場と広場を災害復旧時などに活用

[期待する効果]

○まちに居心地の良い場所が生まれる

○まちに賑わいが生まれ、まちの価値が高まる

○まちの製品の新たな活用が図れる

○まちの豊かな自然や景観を再発見する

導入機能及び施設計画概要

敷地条件をもとに、ゾーニング及び導入機能・施設を以下に整理する。

敷地条件	ゾーン	導入機能	導入施設
樹林帯 (桜と竹林)	緑陰 ゾーン	環境保全、癒し 桜や竹林など、既存の樹林帯の維持活用を図り、癒しや憩いの場となる	<ul style="list-style-type: none"> ・桜テラス ・セラピーテラス ・竹林散策路
既存の樹林帯と 高低差・斜面	森の遊び ゾーン	遊び体験 樹林帯や斜面を活用したアトラクション遊具でダイナミックな遊びを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・展望テラス ・ネット遊具 ・滑り台 ・散策路
水辺景観	水辺 ゾーン	子育て、交流、憩い、飲食、物販 水辺景観を眺めてくつろぎながら、食事、物販などを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ・川テラス ・複合施設(ビクターセンター・展示・子育て・未病・レストラン・物販等)
広がりある平地	広場 ゾーン	交流、憩い、防災 イベントや交流の場となるほか、災害時に避難場所などに利用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場 ・BMXコース ・コモンハウス ・プレイパーク
宿泊できる場所	宿泊 ゾーン	憩い、癒し グランピングで手軽に自然を満喫できるほか、災害時に避難した町民がトイレやシャワーを使える	<ul style="list-style-type: none"> ・グランピング関係施設(宿泊、管理棟、駐車場)
駐車場	駐車 ゾーン	便益、防災 駐車スペースや災害時の物資提供場所などに利用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場 ・駐輪場

モデル計画平面図

川の流れ

中津川

川の流れ

※画像はイメージ

リバーサイドハウス（複合施設）



川テラス



グランピング施設



幼児遊び場



コモンハウス
（屋外コミュニティスペース）



BMXコース



展望テラス



竹林



児童遊び場（ネット遊具等）



桜テラス



※上記はモデルであり、本事業の開発・運営に携わる民間事業者の提案内容によって、内容や規模、レイアウトなどが変更となる可能性がある

主な施設の概要

施設名	施設機能	
リバーサイド ハウス (複合施設)	カフェ・レストラン	地元食材等を活用した料理を提供
	屋内遊戯室	屋外の幼児遊び場と一体となった遊び場所を提供
	多目的室	会議やイベント等への活用が可能な多目的空間
	未病コーナー	健康状態や体力チェック等、健康意識を醸成
	物産販売所	地域の食材や加工品、工芸品等を販売
	ビジターセンター	半原水源地の遺構や町の歴史資料等を紹介
グランピング施設(事業者提案)	手軽に自然に近い環境での宿泊施設	
コモンハウス(屋外コミュニティスペース)	休憩やコミュニティスペースとしての施設	
幼児遊び場	泥遊び場やクッション遊具など、小さな子どもも安心して楽しめる	
川テラス	水辺空間の眺望や川のせせらぎを楽しむ	
展望テラス	傾斜地を活かした眺望やヨガ等のリラクゼーションを楽しむ	
児童遊び場	ロング滑り台や、ネット遊具及びハンモックなどでダイナミックな遊びを提供	
桜テラス	春の花見、秋の紅葉等を楽しむ	
竹林	竹林の散策や森林浴セラピー等、癒しを提供	
BMXコース	子どもから大人まで楽しめるダイナミックなコースを提供	

※上記はモデルであり、本事業の開発・運営に携わる民間事業者の提案内容によって、内容や規模、レイアウトなどが変更となる可能性がある

拠点整備費(概算)

平成30年度時点(31.1億円)から見直しを行った整備費は以下のとおりである。なお、当該拠点整備費については概算であり、整備手法により変動する。

(税込)

敷地造成等工事費	2.5億円
土木・造園・建築等工事費	14.5億円
合 計	17.0億円

(財源内訳)

国支出金	2.9億円
地方債	7.7億円
その他収入	2.1億円
一般財源	4.3億円
合 計	17.0億円

※ 当該財源内訳の算出については、現行の国庫補助制度や地方債制度などをもとに算出したものであり、今後、制度改正等があった場合には変動する。